

株式会社 河北新報社

DATA：所在地／仙台市青葉区 業種／日刊紙発行 設立／明治30年
労働者数／592名（うち女性67名） 管理職／156名（うち女性5名）

幅広く活躍する女性たち

地域に密着した報道を編集方針としつつ、風土に根ざした文化振興にも力をいれています。主に東北6県で購読されており、県内の購読率は約60%にのびります。

編集、営業、総務など、システム部門以外のすべての部署で女性が働いています。女性記者は以前からいますが、21年前から定期的に採用し、現在では30名を超える勢力になりました。

女性も多く登用されており、役職者（係長相当職以上）は平成19年度現在で22名、管理職（課長相当職以上）は副部長として5名が登用されています。

育児・介護への手厚い支援

育児休業制度は平成3年、介護休業制度は平成6年と、ともに法制定と同時期から整備されていました。大半の企業が休業中は無給としている中で、当社では給与の2割程度を目安に見舞金という形で手当を、また、休業後に復職した際は復帰奨励金（5万円）を支給しています。

育児をする従業員について、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ制度がありますが、対象は子の就学前までとなっており、法定以上の内容です。介護休業も対象期間は180日までと、こちらも法を上回っており、同様にこの期間内で始業・就業時刻の繰上げ・繰下げが可能です。従業員の家庭において、家事を主にする人が病気などにより家事ができなくなった場合、ホームヘルパー料金の補助も受けられます。

以上のような充実した支援を受け、平成18年度では女性2名、男性1名、19年度は女性1名が育児休業を取得しました。男性の取得者はこれで3人目ですが、平成20年4月からは、

男性記者1名が半年の予定で育児休業を取得する見込みです。

育児休業取得にあたっては、「出産・育児休業のしおり」が渡されますが、男性版・女性版の2種類を用意しています。また、復職前には個別ガイダンスを2段階に分けて行っており、円滑な職場復帰に向けた取り組みが進んでいます。

ワークライフバランス

推進委員会の立ち上げ

平成19年6月、局次長クラスを構成メンバーとして、「ワークライフバランス推進委員会」が発足しました。年度目標を立て、進行状況をチェックしながら取り組みを進めていますが、休暇取得日数の増加など、成果が少しずつ現れ始めています。

今後は、「くるみんマーク」（※下記参照）の認定に向けた取り組みを進める予定です。

※くるみんマーク：事業主が従業員の子育て支援のための行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たしている場合、厚生労働大臣の認定を受けることができます。また、認定を受けた事業主は認定マーク（愛称：「くるみん」）を商品等につけることができます。

